

生産者通信

(有)エコ・ライス新編
定価 100円(送料込)

2024年播種前研修会を開催

最新テクノロジーで2025年農業問題に挑戦 有機栽培・記録にカーボンニュートラル!!



写真…アイガモロボ



春作業を目前にした3月8日、長岡市中之島文化センターで播種前研修会を開催しました。生産者37名と各企業の講師の方々(有機米デザイン(株)、ウォーターセル(株)、シンジェンタジヤパン(株)、BASFシジャパン(株)、第四北越銀行(株)SUSTECC)と、来賓として、旭酒造(株)の西田取締役、榎本精米主任にも山口県からご参加いただき、全体で49名が参加されました。今回の研修会は、山田錦の生産者だけではなく、有機栽培への取り組みや、リゾケアの直播栽培に興味を持つ生産者も多数おりました。

有機米デザイン

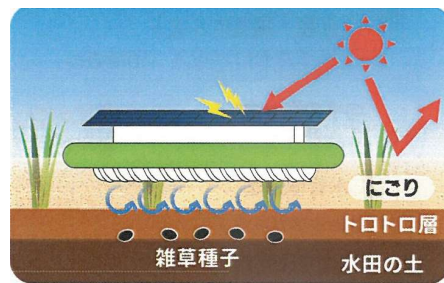
興味のある方は、QRコードから検索を。

現在、稲作業界で話題の天水・直播栽培の「マイコス」(菌根栽培)について、全国の実践例を紹介。

現在、稲作業界で話題の天水・直播栽培の「マイコス」(菌根栽培)について、全国の実践例を紹介。

「アイガモロボ」について説明。会場で実物を紹介し、大きさに比べ、非常に軽く、太陽光を使用し、自動運転で手間を省き、コスト低減になること。

1. 有機米デザイン



agri-note.

また、田んぼからのCO2排出が問題となっており、アグリノートでは中干(溝切り)などの記録が自動にでき、今後、カーボン取引をする際にも活用できます。

長年の経験と勘と記憶が頼りとなり、困惑した。しかし、アグリノートを活用することで、スムーズに記録ができ、客観的な農業経営が可能となり、引継ぎすることができた。

2. ウォーターセル

「記憶」から「記録へ」と題し、新規就農や研修生、短期のアルバイトを悩ますのが「記録」。農地や農作業が誰にでもわかるように記されていないことがあげられます。

実例として、地元の農業後継者が、父親からの引継ぎで苦労した。



旭酒造からは、グランプリを獲得した山田錦の玄米を見せていただき、生産者の皆様は玄米に釘付けでした。

3千万円の山田錦を目の当たりにし、「今年こそ」との思いを強く抱きました。